

2017 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日まで
当院で待機的結腸癌切除術を受けられた患者さんへ
「待機的結腸癌切除症例に対する ERAS 導入による
SSI への影響」の研究について

【研究課題名】 待機的結腸癌切除症例に対する ERAS 導入による SSI への影響

【調査データ該当期間】 2017 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの情報を調査対象とする。

【本研究概要及び利用目的】

Enhanced Recovery After Surgery（以下、ERASとする）とは手術後の回復促進に役立つ各種ケアをエビデンス（論理的証拠）に基づき総合的に組み合わせたプロトコールにより、手術を受けた患者さんが術後早期に回復することを目的としたプログラムのことです。

当院では待機的結腸癌切除症例の患者さんに対しERASの導入の効果を検証いたします。また、手術部位感染（Surgical site infection：SSI）の発生率を調査いたします。

【対象となる患者さん】

2017 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの期間中に待機的結腸癌切除術を受けられた方

【利用する情報】

手術を受けられた後の退院までの日数、食事摂取状況、創傷の状態

【研究責任者】

北播磨総合医療センター看護部 高橋 尚子（看護師）

【個人情報の保護及び研究成果の公表について】

患者さんの診療録から収集させていただくデータについては、患者さんを特定できる情報（個人情報）を匿名化した上でこの研究に用いらさせていただきます。また、この研究の成果は学術目的のために学会等で公表を予定していますが、その場合も、患者さんの個人情報は匿名化されていますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

【研究へのデータ使用の取り止めについて】

この研究にデータが使用されることについて、取り止めを希望される場合には、下記問い合わせ窓口の担当者までご連絡ください。なお、取り止めを希望された場合でも何ら不利益を受けることはありません。

【お問い合わせ先】

担当者：高橋 尚子（北播磨総合医療センター看護部 看護師）

電話番号：0794-88-8800（受付：平日9：00～16：00）